

テーマ：2008年1-3月期GDP統計（2次速報）予測
～ 前期比年率+3.9%と上方修正を予想 ～

発表日：2008年6月4日（水）

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ 高めの伸びだった1次速報からさらに上方修正される見込み

6月11日（水）公表予定の2008年1-3月期実質GDP（2次速報）は前期比+1.0%（前期比年率+3.9%）を予想する（1次速報：前期比+0.8%、前期比年率+3.3%）。

本日公表された2008年1-3月期の法人企業統計季報では、設備投資（ソフトウェアを除く）が前年比▲5.3%（10-12月期同▲7.3%）と前期からマイナス幅が縮小した。QE推計に際して用いられる断層調整を行ってもマイナス幅は縮小している。また、法人企業景気予測調査において金融機関設備投資が強めだったことも上方修正要因となる。供給側推計値については3月分の生産動態統計などが弱めであったことから下方修正の見込みだが、全体としてみれば上方修正の影響が上回る。この結果、1-3月期のGDP 2次速報における設備投資は前期比+0.2%と、1次速報段階の同▲0.9%から上方修正されると予想する。また、民間在庫投資については、前期比寄与度が▲0.1%ポイントと、1次速報からほぼ変わらずと予想する。

その他の需要項目では、3月分の国際収支統計を受けて輸出が前期比+4.1%（1次速報：同+4.5%）、輸入が同+1.5%（1次速報：同+2.0%）とそれぞれ下方修正されるが、外需寄与度については変更はない見込みである。また、3月分の建設総合統計を反映して公共投資が前期比+1.3%（1次速報：同+1.5%）と若干下方修正されると予想する。

2008年1-3月期GDP2次速報予測
(前期比、%)

	2008年 1-3月期 1次速報	2008年 1-3月期 2次速報予測
実質GDP	0.8	1.0
前期比年率	3.3	3.9
内需寄与度	0.3	0.3
民間最終消費支出	0.8	0.8
民間住宅	4.6	4.6
民間企業設備	▲ 0.9	0.2
民間在庫品増加(寄与度)	▲ 0.1	▲ 0.1
政府最終消費支出	▲ 0.8	▲ 0.8
公的固定資本形成	1.5	1.3
外需寄与度	0.5	0.5
財貨・サービスの輸出	4.5	4.1
財貨・サービスの輸入	2.0	1.5
名目GDP	0.4	0.5
前期比年率	1.5	2.1
GDPデフレーター (前年比)	▲ 1.4	▲ 1.4